

地域医療連携室だより

みゆき会病院 地域医療連携室 TEL023-672-8282 / FAX023-673-2561(直通) 第10号
2021年12月発行

脳卒中患者に対する 回復期リハビリテーションについて



昨年4月から脳卒中回復期リハビリテーション病棟を担当しています。41年間、脳神経外科医として急性期脳卒中の治療を行ってきましたが、リハビリテーションはとても大切だと感じていました。その意をさらに強くしたのは2006年でした。診療報酬改定で、医療によるリハビリが180日で打ち切れ、以後の回復期、維持期リハビリができなくなりました。私は、それはおかしいと思いました。全国でも声があがり、その中でも有名な免疫学者の多田富雄先生が「診療報酬改定によるリハビリ中止は死の宣告」と新聞に投稿したのをはじめとして発言、発信して、それが全国的な運動となり法律を撤回させました。多田先生は2001年5月に脳梗塞を発症して発声障害、嚥下障害、重度の右片麻痺を後遺しましたが、リハビリテーションを継続して、2011年になくなるまで多くの本や能の脚本を執筆し、創作能が上演されるなど活躍、人々に大きな影響を与えました。

多田先生のリハビリによせる思いです。「リハビリは単なる機能回復ではない。社会復帰を含めた、人間の尊厳の回復である」「リハビリ科は医師や療法士にとって、今でも毎日が発見と学習の場である。研鑽の対象は患者一人ひとりの体と残存能力である。そんな魅力的な医学領域は、もうそう多くない。好奇心に富んだ若者が生きがいを持って参加する絶好の領域であろう。それは、患者として何人もの療法士と付き合った経験から、はっきりといえる。」

当院の療法士はみな意欲的で、患者さん一人ひとりに対して懸命にリハビリに取り組んでいます。理学療法士、作業療法士、言語療法士、看護師、ソーシャルワーカー、栄養士、医師が毎日一堂に会してカンファレンスを行い、患者さんのリハビリの進行状況および家庭環境をよく把握して、仕事への復帰、自宅退院、施設入所など、もっともよい解決法を模索しています。脳卒中後遺症の患者さんの回復期リハビリテーションはぜひ当院にご紹介ください。

みゆき会病院 脳神経外科 金城 利彦



地域連携室ニュース

電子カルテを導入します

令和4年1月1日より、電子カルテを導入し、稼働いたします。

「電子カルテ」は、従来、紙で保存しておりましたカルテ（診療録）を、コンピューター上のシステムにて、管理・保存するものです。

電子カルテの導入により、院内各部門の情報提供や伝達がスムーズになり、医療安全・診療業務の効率化と質の向上を図ることができ、みなさまへのサービスの向上を図ることができると考えております。

導入当初は、操作が不慣れなことや、受付・会計等の流れの変更、また、予期しないトラブルにより受付・診察・検査・会計等で、待ち時間が多少長くなることも予想されます。しばらくの間大変ご迷惑をおかけいたしますが、サービス向上のため、システム導入にしまして、何卒、ご理解とご協力をお願いいたします。

管理部 副部長 江口裕一



外来予約及び転院紹介について

○外来予約

医事課へ電話かFAXでご紹介ください。ご紹介いただいた患者様は、お待たせすることなく診療科へご案内いたします。

外来予約申込書は、当院ホームページよりダウンロードしていただけます。

TEL:023-672-8282 FAX:023-673-1523

<https://www.miyuki.or.jp/hp/>

○転院予約

急性期治療後のリハビリや療養目的等の患者様のご紹介は、地域医療連携室までご連絡ください。

転院依頼票は、当院ホームページよりダウンロードしていただけます。

TEL:023-672-8282 FAX:023-673-2561

<https://www.miyuki.or.jp/hp/>

地域医療連携室紹介

当院医療連携室は、ソーシャルワーカー4名、
看護師2名、
医事課職員1名の
計7名で担当しております。

外来予約、
病病連携による転院相談・調整及び退院調整
を主な業務としております。

外来受診のサポートや自宅・施設へ安心して退院していただけるよう
関係機関との連携を図っていきたくと考えております。
今後ともよろしく願いいたします。

地域医療連携室スタッフ

医事課 川村こゆき

看護師 吉田淳子、山賀洋美

医療ソーシャルワーカー 赤城教之、高橋葉唯留、渡邊裕美子、芦野世莉佳

